

目 次

I. 報告	1
長時間使用しても疲労の少ない意思伝達装置の表示装置の開発 ウィッツェル株式会社	
A. 開発目的	1
B. 開発する支援機器のユーザ	2
C. 開発体制	2
D. 試作した機器またはシステム	2
E. 開発方法	4
F. モニター評価	6
1. 評価手法	6
2. 評価項目	6
3. 対象者数	7
4. モニター評価時の環境条件	7
5. 倫理面への配慮	7
G. 開発で得られた成果	8
H. 予定してできなかったこと	9
I. 考察	9
J. 結論	10
K. 健康危険情報	10
L. 成果に関する公表	10
M. 知的財産権の出願・登録状況	10
II. 開発成果の公表に関する一覧	10
III. 開発成果の公表に関する刊行物・別刷	10
IV. 参考資料	11
1. 被験者ごとのモニター環境条件	11
2. 被験者ごとの評価結果	25
3. 日常生活状況集計表	34
4. コミュニケーション機器の操作方法集計表	35
5. 評価結果集計表	36
6. 倫理審査申請書	37
7. ヒトを対象とする支援機器の臨床的研究計画書	40
8. 被験者として「寝ながら長時間使用しても疲れにくい表示装置の研究」に ご協力いただくための説明書	49
9. アンケート	58
10. 身体機能とTV・パソコン・コミュニケーション機器の利用状況	61
11. 横浜市総合リハビリテーションセンターでのデモ・議事録	62
12. ねころビジョンカタログ	63